

平成20年度 小中連携研修会報告

- 1 日時 平成20年 6月11日(水) 14:15～16:55
- 2 会場 明和小学校
- 3 日程

14:15～全学級による授業参観

15:25～16:25 分科会

【学習指導部会】～子ども一人一人が確かな学力を身に付け、互いに学び合う指導法の工夫をどのように図るか～

(1) 各学校の発表

《明和小》

- 基礎的・基本的事項の定着を図る指導法の工夫(全校、各教科、各学年の取組)
- 自ら学ぶ姿をつくる指導法の工夫(算数科を通して)
- 家庭学習の在り方
- これからの小学校外国語活動について

《明和中》

- 確かな学力について(推進委員会、日々の提出物、学習習慣確立週間)
- 個に応じた指導の充実

(2) 質疑応答

- 未提出の子どもへの指導について
 - ・ 未提出一覧表、放課後指導等意識付けを図り、やろうという気持ちを育てる。
- 新1年生の話合い活動が充実しているが、小学校での指導はどのようにしてきたか。
 - ・ 国語や特別活動等で、メモや原稿書きを使って発表の練習、自分の意見をたくさん言わせる練習をさせてきた。
- 小学校の現在の英語活動について
 - ・ AEAとの授業(年間10時間)その他は、担任と子どもだけでの授業(計20時間)
 - ・ 話す・聞く、ゲームや歌、スキットを通してのコミュニケーション能力の育成

(3) 意見交換

- 小中連携した家庭学習の定着について
 - ・ 保護者との連携、期限前日に声をかける。
 - ・ 学び方タイムの利用
 - ・ やったことに対してほめる。

(4) 指導助言(明和中 中馬教頭先生)

- ・ 学習習慣作りを徹底させる。(学び方ガイド、家庭学習の手引きの充実)

【生徒指導部会】～生徒指導の充実を図るための児童生徒理解をどのように図るか～

(1) 各学校提案

《明和小》

- ・ 児童理解の取組(心の教育推進委員会、朝のあいさつ運動)
- ・ ボランティア活動の推進、生活指導強調週間の実施

《明和中》

- ・ 現状と実践事項
- ・ 課題と今後の対策(不登校、不登校傾向の生徒への指導、問題行動の未然防止、友達間のトラブル)

(2) 質疑応答

- 中学校のカウンセラーの状況
- 保健室登校への対処

- ・ スポーツ少年団，習い事等で，疲れを感じている子どもが多い。
- ・ 高学年は，学習時間も関係している。朝食の摂取について課題
- 睡眠時間について
- 友達関係のトラブル（携帯電話のブログ，プロフ等）
 - ・ サイトへの書き込みからのトラブル（中学校は，携帯電話をもつ子供も）
 - ・ パソコンの使い方に関する指導の充実を。

(3) 意見交換

- 共同実践事項…継続的な情報交換で，情報を共有し，指導に活かす。

(4) 指導助言（明和中 前村校長）

- 意識をもって，現状を見ていく。相互補完の必要性

【特別支援教育部会】～配慮を必要とする子どもへの手立てをどのように図るか～

(1) 各学校提案

《明和小》

- 校内支援体制の確立
 - ・ 子どものよさを見つけて伸ばす支援，子どもの行動を肯定的に捉える支援
- 配慮の必要な児童のリストアップの仕方

《明和中》

- 対象生徒の支援方法の検討，実施
 - ・ 保護者，教科担任，補助教員との連携
- 個別の指導・支援計画案の作成・改善

(2) 質疑応答

- 特別な支援を要する子どもの対応
 - ・ 保護者との連絡，個別指導
- 学力不振とそうでないかの判断について
 - ・ WISKⅢでの判断，保護者への投げかけ，啓発
- 多動の子どもへの支援体制
 - ・ 保護者・周りの子どもたちの理解と協力
 - ・ 関係機関（保幼小連絡会，研修会）との連絡をとおしての実態把握

(3) 意見交換

- 校内支援体制の確立→学校全体で支援する体制を（全職員の共通理解，支援体制・組織作り）
- 在籍児童・生徒の実態把握，個別の指導計画作成

(4) 指導助言（明和小 池田教頭）

- 周りの子どもへの理解を深める。
- 専門の方の講演会をする。

16:30～16:55 全体会

- 分科会報告
- 本年度の課題
 - 一 小一中の特色を生かし，小中連携研修会の充実を図る。（今後も取組の確認をし合い，各部会での連携を密にする。）
- 会場校校長講話・閉会のあいさつ
 - ・ 学力問題への対応
 - ・ 確かな学力の定着
 - ・ 「評価」と「公開」
 - ・ 意識改革と行動改革
 - ・ 心の教育の充実